

様式第 6 号（第 6 条関係）

令和 6 年 4 月 1 日

朝来市議会議員 森田 龍司 様

会派の名称 朝来市議会公明党
会派代表者の氏名 上田 幸広
経理責任者の氏名 上田 幸広



令和 5 年度収支報告書

朝来市議会政務活動費の交付に関する条例第 7 条並びに同条例施行規則第 6 条第 2 項の規定により、令和 5 年度の政務活動費に係る収入及び支出について報告します。

記

1 収入

科 目	金 額	摘 要
政務活動費	120,000 円	
計	120,000 円	

2 支出

科 目	金 額	摘 要
調査研究費	120,740 円	R5/7 東京都出張 54,100 円 R6/1 宮崎県・大分県出張 66,640 円
研修費	10,000 円	R5/7 地方議会サミット参加費
広報費	円	
広聴費	円	
要請・陳情活動費	円	
会議費	円	
資料作成費	円	
資料購入費	円	
計	130,740 円	

3 収支差引残額

収入総額 120,000 円 － 支出総額 130,740 円 ＝ △10,740 円



令和 6 年4月1日

朝来市議会議長 森田 龍司 様

会派の名称 朝来市議会公明党
会派代表者の氏名 上田幸広 印

政務活動費の成果に関する活動報告書

朝来市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条第3項の規定により、
令和5年度政務活動費の成果について報告します。

記

1 活動事項

調査研究

2 実施日

令和5年7月4日～6日

3 参加議員氏名

上田 幸広

4 活動内容

① 日時 令和5年7月4日 15:00～

調査内容

東京都品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」

*施設概要

品川区環境基本計画において示された、環境教育・コミュニケーションの充実や環境保全について日常的に実践する人を育て、次代につなぐ環境都市の実現を目指すため、環境を体感して学べる施設として整備。「エコル」とは「エコな活動をする」

*施設機能

体験学習機能・情報発信機能・交流連携機能

*施設のキャッチコピー

「つなぐ つづける つくりだす ～エコなミライへ～」

品川区の資源や区における環境保全に対する取り組みなど、今あるものをつなぎ、持続可能にするものとあわせ、施設から今までにない新たな魅力やにぎわいを創り育てるという施設の基本理念を表しています。

*施設ターゲット

第一ターゲット 未来をつくる子どもたち

第二ターゲット 子どもを支える人たち

*開館日

令和4年5月1日 戸越公園内

*フロア概要

1階

コミュニティラウンジ・キッズスペース（情報発信機能・交流連携機能）

自然豊かな公園と一体感を感じられる開放的な空間、情報コーナーやキッズスペースを備える広々としたコミュニティラウンジのほか、団体活動や環境保全活動に利用できる貸室など、利用者の学び・交流を促すスペース。

2階

地域交流室（交流連携機能）

町会・自治会など地域活動の場

ボランティア室（交流連携機能）

施設で活躍するボランティアなど環境に関する活動を行っている方の拠点。

3階

多目的スペース（体験学習機能・情報発信機能・交流連携機能）

映像展示室・常設展示室・メッセージ展示室（体験学習機能・情報発信機能）

：映像展示室 環境への興味につなげる大型映像。対象年齢別のコンテンツを設定。

：常設展示室 時間軸で環境を捉える体験型展示。1秒・1日・1年・10年のスケールで環境について考える。

：メッセージ展示室 来館者同士が思いを共有する参加型展示。展示を通じて気持ちを、メッセージや絵など簡単な方法で発信。

「エコルとごし」の特徴

環境に配慮した施設。ZEB(Zero Energy Building)化を実現。

地熱利用、雨水利用、太陽光発電、壁面緑化、深い庇の効果、空調・照明・換気の自動制御など、省エネ・創エネにつながる様々な取組み。これにより都内の公共施設初めてのNearly ZEBの認定を受ける。計算上館内のエネルギーの91%を自給自足しており、昨年度の実績も、自給自足の割合は97%。

区民交流に重点を置いた施設。

1 階は全て交流スペースであり、椅子と机が設置され自由に使いキッズスペースも併設。子どもの自習や、地域の方の憩いの場、公園利用者の休憩場所として利用されている。利用者は、月に平均約 2 万人(一日あたり 650 人)。開館時間、早朝 7 時から夜 21 時半と開館時間が長い。

○成果

今回初めて Nearly ZEB の認定を受けた施設を視察し、省エネと創エネの技術のすばらしさを肌で感じることができた。施設は戸越公園の中に位置し、かつての武家屋敷の庭園や池もあり、緑に囲まれた素晴らしい環境に建設されている。建物の内装は木材仕様であり品川区の交流自治体である高知県や福岡県などの木材、都内では多摩産材が使用されている。館内照明は LED で人感センサー併用で蛍光灯より消費電力を 70 パーセント削減している。風の流れて自動開閉する窓を設置し、窓ガラスは Low-E 複層ガラスを使用し断熱効果が高い。窓の外側にはキヅタが栽培され緑のカーテンとなっており、雨水利用で自動的にプランターに注水される。空調には地中熱が利用されるなど大変多くの省エネと創エネの工夫がなされている。映像展示室・常設展示室には、プロジェクションマッピングで子どもたちが、楽しく遊びながら環境問題を学べる企画や、食品ロス、衣類などのリユース、下水汚染の軽減の展示の解説も非常にわかりやすいものとなっていた。今回の視察をこれからの朝来市の環境学習の取組みに活かしていきたいと感じた。

全国地方議員サミット 2023

7 月 5 日

基調講演 北川正恭 早稲田大学名誉教授 元三重県知事
「激変する時代に対応する議会を実装せよ」

▼三重県知事を退任してから 20 年間地方から国を変えることができると思い活動を続けてきた。2015 年に「地方創生」が生まれ地方自治は、確実に変わってきている。議会は民意を反映し、政策を提案する権利を有している。もっと積極的に政策決定をすべきである。ミッションオリエンテッドの議会とルールオリエンテッドの執行権者が機関として競争を行うような自立した思いで議会に臨んでいただきたい。地方議会が地方を変え、地方から国を変えていくのである。

特別講演 河野太郎 デジタル大臣
「デジタルで変わる社会 地方と議会への期待」(ビデオメッセージ)

▼人口減少・少子高齢化社会の日本の未来を考える時、人が人に寄り添い誰人も取り残さない温もりのある暖かい社会を構築しなければならない。その為には、人間は人間がやるべきことに集中しなければならず、人間がやらなくてもよいことは、AI やロボット、コンピューターに任せればよい。国が推進するデジタル化の目的は、その様な温もりのある社会を作ることである。国と自治体で一緒に力を合わせて推進したい。

セッション テーマ1 「デジタルで変わる自治体・政策」

①「マイナンバーカード交付率 9 割超え都城市のデジタル戦略」
都城市総合政策デジタル統括課 佐藤泰格

▼デジタル化の恩恵を市民に届けることが一番の目的。電子母子手帳サービス、避難所入所利用、ふるさと納税アプリなどを導入。デジタル化を市民目線で行う。推進を加速させるには、組織・人材・予算が大事。マイナンバーカード交付率は96%。

②「ChatGPT 自治体活用実証 横須賀市のデジタル戦略」
横須賀市デジタル・ガバメント推進室 寒川孝之

▼将来、人口減少に伴い職員も減少が見込まれる。より効率的な行政運営が必要。
ChatGPT を活用実証の結果、文書作成業務の職員負担は軽減され効率的な業務が可能となる。またデータ分析なども効率的に行えるようになった。

③「全国初 県内全 77 市町村とお協働電子図書館「デジとしよ信州」」
県立長野図書館 森 いずみ

▼2019 年東日本台風による千曲市図書館の被害、2020 年新型コロナウイルス緊急事態宣言による図書館休館。コロナ禍により電子書籍サービスを導入する自治体が急増した。市町村と県による協働電子図書館を開設。読書バリアフリー、学校連携、オリジナルコンテンツ作成などに取り組む。いつでも、どこからでも、無償でアクセスできる環境を実現し持続的に発展させることを目指す。

④「デジタル図書館とアクセシブルライブラリー」
(株)メディアドゥ 電子図書館推進センター 林 剛史

▼2019 年施行の「読書バリアフリー法」に基づき視覚障害者などが利用者しやすいアクセシブルな書籍/電子書籍の充実が自治体に求められている。
(株)メディアドゥは、視覚障害者向け電子図書館システム「アクセシブルライブラリー」を開発。今後普及拡大に取り組む。

セッション テーマ2 「オンラインとデジタルを活かす」

①「議会デジタル化の必要性 ChatGPT などの生成系 AI とどう向き合うか」
河村和徳 東北大学大学院准教授 都道府県議会デジタル化専門委員会座長

▼議会デジタル化を進める上での基本的認識 効率的な議会、開かれた議会、危機に強い議会、信頼される議会にするため。デジタル・インクルージョンの視点として多様性への対応(多様な住民、議員の多様性)。アナログをデジタルに置き換える発想ではなくアナログもデジタルもという発想が大事。安全性も重視しなければならない。

②「デジタル・オンライン活用最前線 AI 活用による議会の視覚化と市民参加」
金沢克仁 取手市議会議長

▼市議会での ICT 活用。オンラインによる議案事前説明。オンライン併用での市民との意見交換会の実施。タブレットを活用によるペーパーレス化。AI 音声認識によるリアルタイム字幕配信など未来型議会の構築を目指し AI・GPT 技術を活用している。

③「デジタルで変わる市民と議会 まちだん宮崎市議会 DX 実証実験より」
Gcom ホールディング(株)まちだん担当 財前貴玄

- ▼あらゆる世代から興味を持ってもらえる議会を目指すためにデジタル技術により
市民と議会との距離を縮めることを目的に実証実験を行う。まちだんとは、スマホやPCを活用し
市民と議会が双方向にコミュニケーションをとりあうこと。結果として市民と議会の距離は縮まり
市民からの相談が増えた。

セッション テーマ3 「デジタルが拓く新しい民主主義」

①「Society5.0時代のあたらしい民主主義」

中村 健 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長
五十嵐 立青 つくば市長

- ▼つくば市のスーパーサイエンスシティ構想におけるインターネット投票の実証実験を積み重ね
2022年度14000人規模の住民投票を実施。これまで病気等で投票に行きたくても行けな
かった人、行くのが困難な人等の投票が実現できるのではないかな。

7月6日

鼎談「地方分権の20年とこれからの10年を展望する」

北川正恭 早稲田大学名誉教授 元三重県知事
片山善博 大正大学教授 元総務大臣
廣瀬克哉 法政大学総長

- ▼(片山)20年前、地方分権は、知事として仕事がやりやすくなり大歓迎だった。
「地域のことは地域の住民が責任を持って決める。」ということが本来の
地方自治の姿。住民の代弁者としての地方議員の責任と判断が大事となる。
議会の「議決」の責任は重い、故に必要であれば修正や否決も可能なのだ。
(北川)地方分権は、議会と行政が両輪で進めていくことで初めて成立する。
県民の生活に重点を置いた体制を作り、制度評価システムを導入した。
地方分権は形式的には整ったが、実装はこれからである。機関委任事務は
2000年に撤廃されたことにより、よりチェック機関としての議会の役割は
大きくなった。住民の代表機関として地域社会をリードしていく議会であって
欲しい。

セッション テーマ4 「政策議会の一般質問」

土山希実枝 法政大学教授
西原 浩 別海町議会議長
青野 敏 鷹栖町議会議員
片山兵衛 鷹栖町議会議員

①「一般質問を議会の政策資源にするシクミ」

土山希実枝 法政大学教授

- ▼一般質問は、議員の実力が図られる、議会の活性化にも必要である。
議員から見た一般質問とは、わがまちの政策・制度の課題であり、
わがまちの政策を良くしていくために議会が議論し意思決定を行う。
しかし、住民には、見えていない。議会から見た一般質問とは、議員
が行政執行のあり方に監査や提案を行うことで自治体の政策を制

御すること。住民から見た一般質問とは、わがまちの課題を議会という
広場で行政との議論を通し課題や状況を明らかにする機会(わがまち
の争点)。住民は、一般的な行政活動・議会活動より、自分にとって関心
のある「わがまちの争点」に関心を持つ。議会という広場で議員が争点
を提起した一般質問を、議会と住民が、政策資源として共有する必要
がある。

別海町議会の取組 西原 浩 別海町議会議員

▼平成 28 年「第 1 期議会活性化計画」策定。

議会運営の基本に「町民参加」「情報共有」とし「わかりやすい議会」
「開かれた議会」「行動する議会」を基本理念とし「議会モニター制度」
「意見交換会制度」を導入。

令和元年「第 2 期議会活性化計画」策定。

重点計画に「議会基本条例の制定」「委員会の調査力及び政策力の
向上」を掲げ「わかりやすい議会」「開かれた議会」「行動する議会」
「結果を出す議会」を基本方針とする。また議会サポーター制度を
導入し 土山希実枝氏 龍谷大学教授(当時)、西科純氏 議会技術
研究会代表がサポーターに就任。

令和 5 年「第 3 期議会活性化計画」策定。

重点計画に「議会機能の充実強化と議会制度の研究」「議会からの情
報発信の向上と議会 ICT 計画の策定」「議会の委員会編成の見直し
と政策提言サイクルの確立」を掲げる。

令和元年「一般質問検討会議制度」を導入し、それぞれの議員の一般質
問での政策のポイントを全議員が参加した会議で共有して、議員間討議
を行い質問内容のブラッシュアップを行う。

鷹栖町議会の取組 青野 敏・片山兵衛 鷹栖町議会議員

▼ 取組①「議会に興味を持ってもらう」

＊様々なデザインの議会開催を知らせるチラシの発行

取組②「議会への理解を深めてもらう」

＊「傍聴ガイドブック」の発行

取組③「議会に参加してもらう」

＊傍聴者に一般質問を評価採点してもらう「議員通信簿」や、良い質問
を行った議員にシールを貼る「にこちゃんシール制度」を導入

2022 年 12 月議会より「一般質問の事前勉強会」を開催。質問内容を
勉強会でプレゼンテーションし他の議員よりアドバイスや意見を貰い
一般質問をブラッシュアップすることを目指す。

○成果

これからの地方議会に必要なデジタル化の先進事例、また民意を反映する
議会のあり方についての鼎談や提言など、これからの議会改革に参考となる
多岐にわたる研修内容であった。先進自治体の成功事例を大いに参考にし
て取手市や別海町のような「チーム議会」としての取組ができる議会にならな
ければならないことを強く感じた。

5 支出内容明細

(単位：円)

項 目	費用総額	使 用 額	積 算 根 拠
調査研究費	60,640	54,100	新幹線運賃及び宿泊費 60,640 個人負担分(宿泊費超過) △4,600 個人負担分(新幹線指定席) △1,940
研修費	10,000	10,000	地方議会サミット参加料 10,000
合計	70,640	64,100	

全国地方議会サミット 2023 領収書の送付について

日頃より、ローカル・マニフェスト推進連盟の活動にご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

この度は、全国地方議会サミット 2023 へのご参加誠にありがとうございました。領収書を送付致しますので、ご確認くださいませよう、よろしくお願いします。

領 収 書

領収 No : S20230567D

領収日 : 2023年6月30日

朝来市議会 公明党

様

一般社団法人マニフェスト研究会
代表理事 中村 健



〒162-0041
東京都新宿区早稲田鶴巻町 517-1
ドラード早稲田 402
電話 : 03-6709-6739
メール : mani@manikee.jp

下記の通り正に領収致しました。

¥ 10000 -

内容	金額	備考
全国地方議会サミット 2023 (7月5日・6日開催) 参加費として	¥ 10000 -	議員 1名様 (@¥10000)
全国地方議会サミット 2023 (7月5日・6日開催) 参加費として	¥ 0 -	議員以外 0名様 (@¥5000)
—余白—	—余白—	—余白—
合計	¥ 10000 -	税込

請求書

N O.122240

発行日 令和5年06月29日

発行者名 坂本

朝来市議会公明党様

電 話

担当者名 坂本

¥60,640円



株式会社ドリーム観光サービス兵庫北営業所

〒669-5264 朝来市和田山町加都1654-1

電話:079-674-1777 FAX:079-674-1333

尼崎本社営業所・兵庫北営業所・八尾営業所・東京オフィス

日 付	科 目	単 価	数	金 額
07/04	JRチケット 姫路～東京 指定席	32,740	1	32,740
	宿泊 ホテルリステル新宿	13,200	1	13,200
	〃	13,200	1	13,200
	企画料	1,000	1	1,000
	取扱手数料	500	1	500
合 計				¥60,640
お預かり金				
差し引き金額				¥60,640

振込み銀行

口座名:株式会社ドリーム観光サービス



*この度は当社をご利用賜り有難うございます。

誠に恐れ入りますが上記金額を までにご入金戴きますようお願い申し上げます。

お客様へ お振込みの場合は振り込み料を引かないようお願い致します。

A. 009058

世界金銀網

殷

金額	460640	円
----	--------	---

但し 1.旅行費前受金 2.旅行費残金 3.その他

集金 自筆サイン
担当者

上記の金額正に領収いたしました。

登録番号:T7140001050288

入金区分

入金種別	
小切手	
現金	
旅行券	
振込	☒
相殺	

(社)日本旅行業協会 〒550 兵庫縣知事登録旅行業第2-580号



株式会社 **ドリーム観光サービス**

- ☐ 本社・営業所/〒660-0807 尼崎市長洲西通1丁目3-24-205 公栄ビル (06) 6488-5300
☐ 兵庫北営業所/〒669-5264 兵庫朝来市雨和山町五丁目1654-1 (079) 674-1772
☐ 八尾営業所/〒581-0003 八尾市本町3丁目10-28 (072) 933-8110
☐ 東京オフィス/〒338-0013 さいたま市中央区錦谷5丁目2-2 (048) 840-6300



第2柏木マンション307号

JAキャッシュユーザーズ

ご利用明細表

当選ありがとうございます。ご利用開始は下記の通りでございます。
 どうぞお落し込みください。お返しの「ご来札」もお待ちしております。

取引金融機関・店	取扱金融機関・店	機番	通番
	3028180	74	0155
取扱日	口座番号等		
05-06-30			
お取引内容	お振込み		
手振額	お取引金額		
¥660	¥60,640		
お引当	お取引後残高		
¥9,000			
印刻	13:38		
お支払可能残高			

カ)ト"リームカソコウサーヒ"ス様

アサコ“ツキ”カイコウメイ
トウ ウエタ”ユキヒロ様

熟地黃

神戸

發發興興發發

4. IAバンク

令和6年4月1日

朝来市議会議長 森田 龍司 様

会派の名称 朝来市議会公明党
会派代表者の氏名 上田幸広 印

政務活動費の成果に関する活動報告書

朝来市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条第3項の規定により、
令和5年度政務活動費の成果について報告します。

記

1 活動事項

調査研究

2 実施日

令和6年1月16日～18日

3 参加議員氏名

上田 幸広

4 活動内容

① 日時 令和6年1月16日 13:30～15:00

場所 小林市本庁舎議員控室

説明者 総合政策部地方創生課 課長 松田和弘 氏

プロモーションGリーダー 佐藤友和 氏

* 調査内容

シティプロモーションの取組について

市の概要

小林市は、人口43,000人、基幹産業は農畜産業で、黒毛和牛、マンゴー、メロンなどのフルーツ、焼酎などが名産。星空や蛍などの自然が豊かなまち。

「ハッシンコバヤシ!!プロジェクト」

平成26年、急速な人口減少問題への対策として「てなんど小林プロジェクト」を開始。「てなんど」とは、地元の方言(西諸弁)の「てなむ＝一緒に」と小林の魅力をブランド化していくという考えで「てなんど」と命名。しかし、このプロジェクトは地元向けのもので、SNSで動画が発信されるが話題とならなかった。

令和3年に、小林市を「知ってもらう」、「ファンになってもらう」、「応援してもらう」、という視点で検証し「地域イメージを向上させる」「地域資源の魅力を広く認知させる」取組により興味・関心を

喚起させることを目的として、「関係人口を増やす」「地域経済活性化」「人口減少の緩和」ことを最終ゴールとし、令和 4 年 4 月から「ハッシンコバヤシ!!プロジェクト」を始動した。「発信」「発進」「発振」⇒「ハッシン」

○成果

市民や出身者を巻き込んで市の魅力を発信する取組は、地域の魅力の再発見やシビックプライドの醸成にも大きく貢献していると感じた。朝来市においてもこの様な取組を大いに参考にすべきであると思う。

② 日時 令和 6 年 1 月 17 日 9:00～12:00

場所 こゆチャレンジフィールド

説明者 こゆ財団 広報 野中 千尋 氏

ふるさと納税 GM 高山 昭二 氏

地域おこし協力隊 二川 智南美 氏

* 調査内容

一般財団法人「こゆ財団」の活動について

市の概要

宮崎県新富町は県のほぼ中央に位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな地域。米・ピーマン・キュウリ・トマトなどを生産し宮崎平野を代表する野菜の産地である。「野菜と温泉のまち」とPRしている。宮崎空港から車で 30 分、人口 17,000 人。

こゆ財団の活動の概要

こゆ財団は、「自立して稼ぐ、スピード感あるまちづくり」を目的に、新富町役場が、2017 年に旧観光協会を法人化して設立した地域商社であり、主に『ふるさと納税の受託運営』と『起業家育成』を柱とした「稼いで人材育成に再投資する」という手法で地域経済の創出に取り組んでいる。

特に、こゆ財団がブランディングに携わった『1 粒 1,000 円の生ライチ』は多くのメディアで取り上げられ、町の特産品の 1 つになっている。ふるさと納税の業績は、累計 90 億円以上であり、その 8%を町から収入として財団の財源としている。財団の取組により、新富町への移住者や起業家が増加し多くの空き家も再生して、新たな事業と雇用を創出している。これらの成果が認められ、2018 年、国の地方創生優良事例に選出されている。

○成果

財団がふるさと納税の受託運営を行い納税額を大幅に伸ばすなど、朝来市のふるさと納税事業の参考にすべき点は多くあった。また、起業家の若い人材も多く移住しておりそのノウハウを朝来市も学ぶべきと感じた。

③ 日時 令和 6 年 1 月 17 日 12:30～15:30

場所 AGRIST 事務所

説明者 AGRIST 営業セールス部広報 大澤 彩美 氏

* 調査内容

AGURIST(株)のスマート農業事業について

AGRIST の概要

新富町の多くの農家から、自動収穫ロボットの必要性を聴き、2019年10月に創業。「100年先も続く持続可能な農業」の実現をビジョンに掲げる。

農業課題の解決というところに重点を置き、農家の問題を解決するためにどんな物が必要かを考え、ロボットの在り方を考えて農家に提供している。

農業人口が減少する一方で、農家1戸あたりの営農面積は増加している。

今後、ICTやロボット技術などを積極的に導入し、農作業の生産性を高めていくニーズが更に高まると予想される。「人とロボットの共存共栄で実現できる持続可能な農業」をテーマに、自動収穫ロボットや再現性の高い栽培データを用いた収益性の高い儲かる農業経営を提案し、農業を魅力的な職業に変えていく。現在は、ピーマンの収穫ロボットが実用化されている。

○成果

将来スマート農業の一翼を担う収穫ロボットの実物を見ることができた。AGURISTが目指す農業の人手不足と高齢化の課題解決のためのAIの活用はこれからの農業にとって不可欠であり、朝来市においても研究すべき課題であると感じた。

④ 日時 令和6年1月18日 10:30～12:00

場所 豊後高田市 真玉庁舎

説明者 豊後高田市 教育長 河野 潔 氏

学校教育課 課長 河野 政文氏

学校教育課 課長補佐 岩本 力 氏

学校教育課 副主幹 板井 純子氏

* 調査内容

豊後高田市「学びの21世紀塾」の取組について

市の概要

大分県豊後高田市は、国東半島の北西部に位置し、瀬戸内海国立公園や国東半島県立自然公園を擁した豊かな自然と歴史文化等の地域資源の豊富なまちであり、2005年3月31日に豊後高田市・真玉町・香々地町が合併し、現在の豊後高田市となる。

事業概要

平成14年度からの「ゆとり教育と学校週5日制」にともなう学力の低下への懸念や学習環境の確保などの課題から、行政の責任として「学習機会や学びの場を平等に保障して、子どもたちの学力の向上や体力づくりを目指す」ことを目的に「学びの21世紀塾」が開塾し現在22年目を迎えている。

学びの21世紀塾

1、いきいき寺子屋活動事業（知） 土曜日講座・水曜日講座・夏季・冬季特別講座・放課後寺子屋講座・寺子屋放課後児童クラブ講座

2、わくわく体験活動事業（徳） 週末子ども育成活動・ステップアップスクール

3、のびのび放課後活動事業（体） スポーツ大会の開催・スポーツ活動の支援

＊1～3は、5歳児・小学生・中学生 対象

＊令和5年度予算 23,973,240円（県2/3、市1/3）

4、学びの21世紀塾 市民講座 ＊一般市民 対象

5、高田高校生のための学びの21世紀塾「うみね」 令和4年度開塾

＊令和5年度予算 32,902,000円（地方創生推進交付金 1/2 地方交付税1/2）

主な質疑

Q. 平成14年の開塾から現在に至り、児童生徒や保護者、また市民の学習に対する気持ちや行動に変容はみられるのか。

A. 児童生徒の学習に対するモチベーションの向上や市民においても教育に対する意識が高くなった。

Q. 多くの市民ボランティアの方が講師として事業に関わっておられるが、登用の基準は、どのようなものか。

A. 人と人との繋がりの中で、意欲のある方に面接し採用している。学習塾の講師もいる。

Q. 講師料や費用弁償は。

A. 1,500円と交通費を支給。

Q. 「学びの21世紀塾」事業は、移住者施策にどの様に影響しているのか。

A. 「学びの21世紀塾」による教育環境の充実は、マスコミにも大きく取り上げられ移住者施策のプラスイメージとなっている。

○成果

豊後高田市では、教育方針に「夢を描き、実現できる子どもの育成 ～子どもたちが自分の好き

なことをより好きに～」を掲げ、教育のまちづくりを目指している。その根幹である「学びの21世紀塾」を視察し、その成果や課題について学び、今後の朝来市の次代を担う子供たちの教育環境の充実の図るための参考するため調査をおこなった。「教育のまち」として将来の都市像を描き、取組まれた観点は素晴らしいと感じた。また多くの移住者を含む市民が講師や手伝い役として参加し、まちぐるみで「学びの21世紀塾」を盛り上げている。小学生で学んだ生徒が高校生に成長し講師役として小学生を教えるケースや夏休みに大学生が帰省し講師を務めるなど「学びの人づくり」が好循環していることにも感動した。また、河野教育長の教育への熱意を強く感じた。本市の教育課題解決に対して、おおいに参考となった。

5 支出内容明細

(単位:円)

項 目	費用総額	使 用 額	積 算 根 拠
調査研究費	67,300	66,640	交通費 47,170
			宿泊費(1/16) 6,930
			視察研修費(こゆ財団) 5,500
			宿泊費(1/17) 7,700
			個人負担分(新幹線指定席) △660
合計	67,300	66,640	



領収書

2024年01月17日
No. 20240117-022

朝来市議会公明党 様

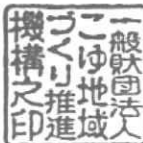
金額 ￥ 5,500 -

但: 視察研修費として

上記正に領収いたしました

小計	￥ 5,500
消費税 (10% 内税)	(￥ 500)

一般財団法人こゆ地域づくり推進機構



〒8891412
宮崎県児湯郡新富町
富田東2-1-1
登録番号: T1350005005677

①



領収書
朝来市議会公明党 様
[626]
2024/01/16 (火) 19:02:49 CL:05 担: 0001

1031 御宿泊代×1	¥6,930
小計	¥6,930
(内消費税 ¥630)	
(内10%消費税 ¥630)	
合計	¥6,930
(10%対象額 ¥6,930)	
9002 現金 (釣銭機2号機)	¥6,930
8000 差額	¥0

* 軽減税率 8%対象商品

NO : 0008452
株式会社新福 T4350001000786

① ②

Date.2024/1/11

領収書

RECEIPT

No.105112

御芳名
Name

朝来市議会公明党

様

領収書金額
Total Amount

¥ 7,700.-

10%対象 ¥ 7,700(内消費税 ¥ 700) 8%対象 ¥ 0(内消費税 ¥ 0)

但 ご宿泊代として

2024年1月11日 上記の金額正に受領いたしました

有限会社工藤旅館 (登録番号: T3320002002364)

クレジットカード扱い / Use of the Credit Card

印紙

ホテルグランド

〒870-0026 大分県大分市金池町1-11-6
TEL:097-532-3981 FAX:097-536-6217



②

e 5489 乗車券 (幹)
[C制] 姫路 → 新八代
経由: 姫路・新幹線・博多・新幹線・新八代
1月16日から 1月20日まで有効 ¥10,560
2023.12.26 西予約セ002発行
60769-10 (4-タ) R122C06
2023.12.26 和田山駅MK2 40088-10

e 5489 新幹線特急券
[C制] 姫路 → 新八代
1月16日 (8:33発) (11:32着) C23
さくら 545号 全席禁煙 8号車 11番C席
¥7,820 内訳: 特5,290・九特2,530
R130
2023.12.26西予約セ061(4-タ) 10792-03
2023.12.26 和田山駅MK2 00091-03

①

③※指定席 ¥330-

バス乗車券 乗車券当日限り有効
新八代駅前 → 小林IC
1月16日 (11:42発) (12:51着) C11
B&Sみやぎ545号 1号車 7番A席
¥2,570
指定された便に限り有効
2024.-1.-3姫路駅N12 (4-) 10190-01

乗車券
(吉) 小林 → 都城
経由: 吉都
1月16日当日限り有効
下車前途無効
¥760
2024.-1.-4生野駅001発行
13466-00 (4-タ)

③

④

JR九州ネット予約 【九州ネットきっぷ】 A
[C制] 企画乗車券 *****
(企)642
都城 → 宮崎
経由: 日豊
1月16日当日限り有効
¥760 R169
利用・払戻には同時発券のB券が必要 2割
下車前途無効
変更や払戻には制限があります C36
2024.-1.-5予約センター74 (6-) 31802-13
2024.-1.16 都城駅-R 00070-13

JR九州ネット予約 【九州ネットきっぷ】 B
[C制] B自由席特急券
(企)607
都城 → 南宮崎
¥550 1月16日当日限り有効 C11
1回限り有効
使用・払戻には同時発券のA券が必要
乗車変更制限有 払戻取扱制限有 R169
2024.-1.-5予約センター74 (6-) 31802-06
2024.-1.16 都城駅-R 00070-06

④ MIYAZAKI
2024.-1.17
宮崎
九州会社線
380円
小児190円
183 発売当日限り有効 下車前途無効
3997 38:20

⑤

⑥

JR九州ネット予約 【九州ネットきっぷ】 A
[C制] 企画乗車券 *****
(企)640
宮崎 → 大分
経由: 日豊
1月17日から 1月19日まで有効
¥4,070 R193
利用・払戻には同時発券のB券が必要
下車前途無効
変更や払戻には制限があります C50
2024.-1.-5予約センター78 (6-) 21815-03
2024.-1.16 宮崎駅-MV50 60286-03

JR九州ネット予約 【九州ネットきっぷ】 B
[C制] B特急券
(企)605
宮崎 → 大分
1月17日 (16:39発) (19:41着) C56
にちりんシーガイア14 2号車 3番B席
¥1,170
使用・払戻には同時発券のA券が必要
乗車変更制限有 払戻取扱制限有
2024.-1.-7丸CVS予約セ3(6-) 40095-05
2024.-1.16 宮崎駅-MV50 10295-05

⑨

⑦

乗車券
入場
金
10,542小

乗車券

.....0000

大分 → 姫路

經由: 日豊・鹿児島線・山陽

1月18日から 1月21日まで有効 ¥10,010

2023.12.28

和田山駅MK2発行

60146-04 (4-タ) C44

(11)

B自由席特急券

大分 → 宇佐

1月18日当日限り有効

1回限り有効

¥1,000

2023.12.28

和田山駅MK2発行

30150-05 (4-タ) C13

(12)

B自由席特急券

宇佐 → 小倉

1月18日当日限り有効

1回限り有効

¥1,200

2023.12.28

和田山駅MK2発行

30157-03 (4-タ) C34

(15)

新幹線特急券

小倉 → 姫路

1月18日 (16:02発) (17:52着)

さくら 560号 全席禁煙 4号車15番D席 C36

¥4,950

2023.12.28和田山駅MK2 (4-) 00161-03

※指定席 ¥330-

(16)

領収書を徴し難い事情があった支出の明細書

会 派 名： 朝来市議会公明党

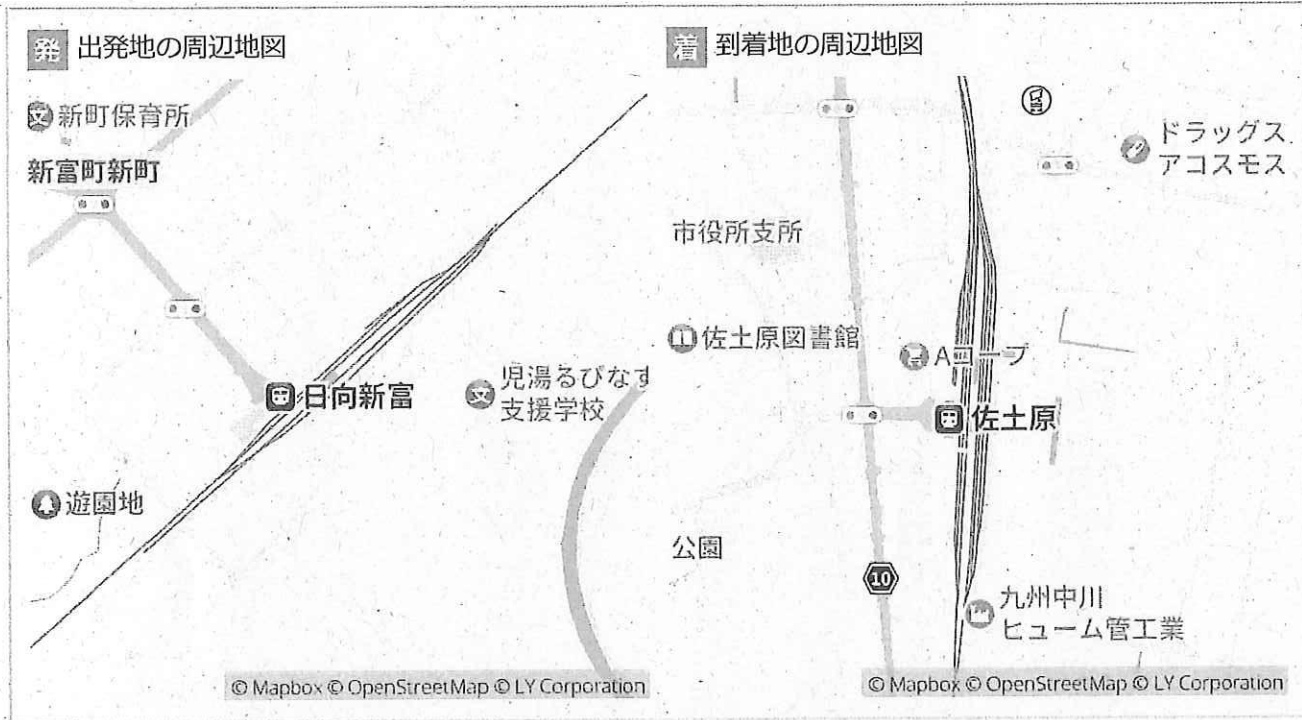
経理責任者： 上田 幸広 印

支出月日	支出金額	区 分	支出の目的	領収書その他の支出を証すべき 書面を徴し難かった事業
R6/1/17	230	調査研究費	JR 運賃	J R 九州 日向新富→佐土原 ※領収書が発行されないため
R6/1/18	1, 140	調査研究費	バス運賃	大分交通路線バス 宇佐～真玉支所 往復 ※領収書が発行されないため

日向新富→佐土原 2024年01月17日(水)平均

1時間7分 (乗車6分) 乗換: 0回 6.7km
IC優先: 230円 定期券 通勤: 1か月 6,820円 / 3か月 19,430円 / 6か月 33,250円

発	日向新富	
6分	J R日豊本線(佐伯-宮崎)	230円
着	佐土原	



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

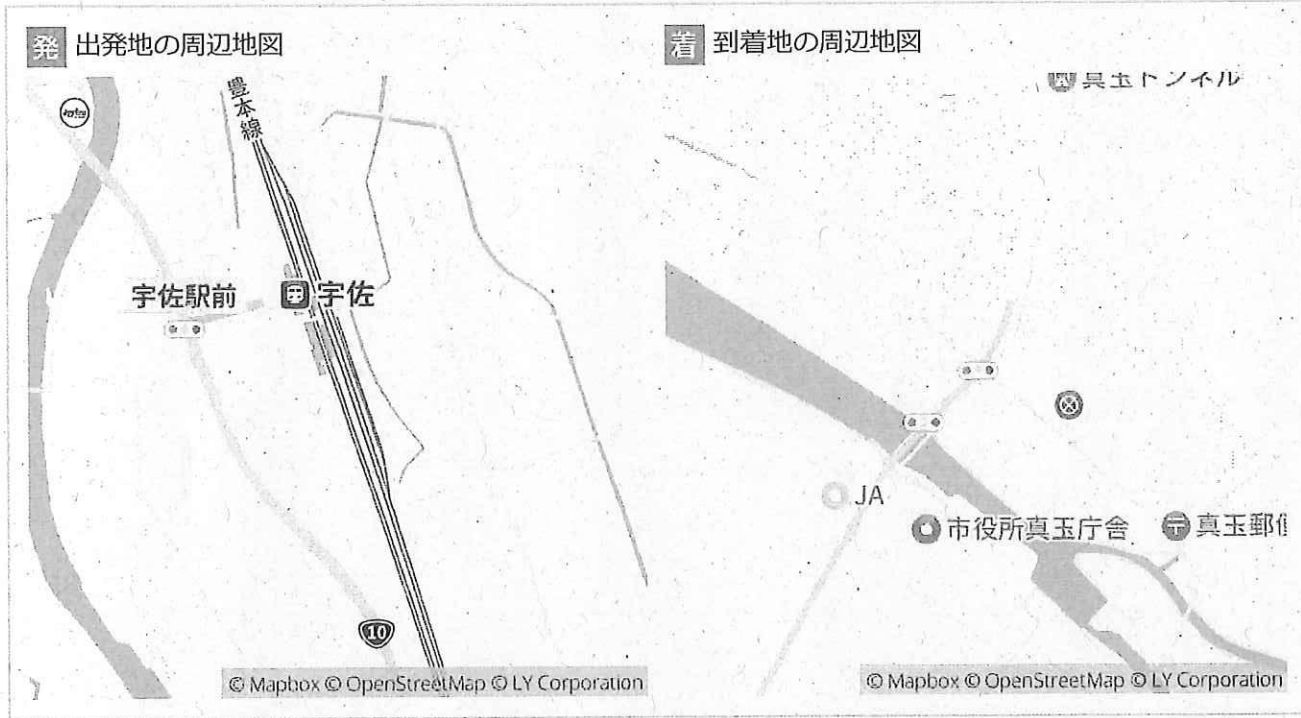
印	印	印	印	印
---	---	---	---	---

宇佐→真玉/大分交通 2024年01月18日(木)平均

1時間59分 (乗車33分) 乗換：0回 13km
IC優先：570円 定期券 通勤：1か月 23,280円 / 3か月 66,350円 / 6か月 116,350円

発	宇佐
1分	徒歩
	宇佐駅前/大分交通
33分	大交北部バス・宇佐駅前－伊美
着	真玉/大分交通

570円



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印
---	---	---	---	---